

HITACHI

OKINAWA HITACHI NETWORK SYSTEMS
Recruiting Information

日立グループのIT技術と人材で、 沖縄から社会を支える。



沖縄日立ネットワークシステムズ 新卒採用

会社概要

IT・インフラを中心に企業や社会を支える仕事をしています。

公共・金融・製造・通信・流通・社会インフラ

日立グループの技術やノウハウを活かしたシステムに携わっています。

ソリューション領域



システム設計・開発

業務課題を整理し、要件定義から設計・開発まで一貫してシステムを形にします。



IT基盤・クラウド構築

ネットワークやサーバー・クラウド環境など、システムを安定稼働させる土台を構築します。



運用・監視

稼働後も状態を監視し、トラブルを未然に防ぎながら、止まらない運用を支えます。



ユーザーサポート

利用者の問い合わせや困りごとに対応し、ITを安心して使える環境を保ちます。



沖縄日立ネットワークシステムズ

沖縄を拠点に、大規模で高度なIT事業に関われる環境です。

ソフトウェア開発

日立グループの一員として企業や社会を支える業務システムの設計・開発を担います。

サービスビジネス

IT基盤の構築から運用までを担い、安定して使い続けられる環境を支えます。

コンタクトセンター

ユーザーの声と向き合い、システムが安定して使われ続ける状態を守ります。

沖縄県内事業

沖縄の企業や自治体に向けて、提案から構築保守までを一貫して行います。

日立グループって？

沖縄日立ネットワークシステムズの位置づけ

沖縄日立ネットワークシステムズは、

日立グループの一員として、デジタルサービスビジネスユニットに属し、グループ内のシステムを中心にITサービスを提供しています。

多くの案件で高い品質や安定性が求められるシステムに若手のうちから関わることができます。



01

日立グループ

社会インフラを支えるグローバル企業グループ



02

デジタルシステム&サービス (DSS)

社会インフラを高度なITで実現する中核センター



03

デジタルサービスビジネスユニット

公共・電力・交通などの社会基盤をITで支える。



04

日立社会情報サービス

デジタルサービスBU傘下で、公共システムの開発・運用を担うグループ会社

沖縄日立ネットワークシステムズ

沖縄を拠点に、デジタルサービスBUの一翼を担う。



沖縄で働く、ということ

沖縄日立ネットワークシステムズでは、
沖縄を拠点にしながら、首都圏で培われた最先端のIT技術を活用した仕事に関わっています。
働く場所は沖縄。

扱う仕事のレベルは、**全国・グローバル水準**。

沖縄で腰を据えて働きながら、社会や企業を支えるITの現場に携われる環境です。

日立グループ内の案件を行いながらスキルを高め、
そこで培った技術を、県内企業や自治体へも提供していきます。





01

ソフトウェア開発

大規模システムからWebシステムまで、お客様に最適なソリューションをご提供します。

- ・ビジネスアプリケーション
- ・ネットワークアプリケーション
- ・ミドルウェア

02

システムソリューション

ユーザー業務に精通したネットワーク技術者とSEが最適のソリューションビジネスをご提供します。

- ・システム構築、ネットワーク構築（LAN/WAN）
- ・運用サポートサービス、テクニカルサポートサービス
- ・クラウドサービス

03

コンタクトセンター

日立グループ内の対応を中心としたコンタクトセンターとして、様々なサービスをご提供します。

- ・ヘルプデスクサービス
- ・障害受付サービス
- ・バックオフィスサービス

社員インタビュー 所属部署：ソフトウェア開発

Q1 これまでの開発での仕事内容を教えてください。

入社以来5年間、一貫して開発部門に所属しています。入社後は約3年間、関東で金融系のシステム開発を担当しました。その後は業務系システム、そして直近では、沖縄に戻ってきて、公共系のシステム開発に携わっています。案件は、主にグループ会社と連携した県外のプロジェクトが中心で、全国規模のシステム開発に多く携わっています。沖縄に戻ってきてからも、仕事内容に大きな違いはなく、全国の案件に取り組んでいます。大学では農学部で勉強していてITは未経験でしたが、就職活動時代に考えていた「自分の作ったものがプログラム通り動くことの楽しさ」を仕事の中で日々感じています。



Q2 仕事の中での印象的な経験と、そこから得た学びは何ですか？

最も記憶に残っているのは、IT未経験で入社した1年目の最初のプロジェクトです。開発現場で飛び交う専門用語や開発の流れについていくのが非常に大変で、不安も大きかったです。しかし、先輩方に積極的に質問し、自分でも必死に勉強をすることで乗り越えることができました。そのプロジェクトが無事にリリースまでこぎつけた時の達成感は大きく、「大変な状況でも努力すればやっていける」という、その後の仕事への自信につながっています。また、案件ごとに使用するプログラミング言語や開発環境が異なるため、新しい技術を理解するための日々の自己学習は今も欠かせないと感じています。

Q3 沖縄にいながら、この会社で働くことの魅力は何でしょうか？

沖縄出身なので、住み慣れた安心できる環境でリラックスして仕事ができることが大きな魅力です。そして、仕事の内容が関東と遜色なく、沖縄にいながらにして全国規模のプロジェクトや最新の技術に関わるチャンスがある点です。自分が開発に携わったシステムが「日々、全国の人が何気なく使っている」という実感を覚える時、それが沖縄で働く大きなやりがいと誇りになっています。就職活動の時に考えていた、「関東で経験を積み、将来的に沖縄に戻る」というキャリアビジョンを実現できているのは、自分に合ったとても良い環境だと思います。



社員インタビュー 所属部署：サービスビジネス

Q1 これまでの仕事内容とご自身の役割について教えてください。

これまでのキャリアでは、グループの中で、関東と沖縄を数年単位で往復しながら、ネットワーク製品の販売・保守に携わってきました。現在は、ITインフラ部門でネットワーク機器などの販売サポートやセッティングを主な業務としていて、沖縄を拠点にインフラ系の技師としてチームを牽引しつつ、お客さまや日立グループの営業担当者と連携を取り、案件を進めています。製品納入時には、お客さま先で直接セッティング作業を行うことも重要な役割の一つです。



Q2 仕事の中での印象的な経験と、そこから得た学びは何ですか？

入社7～8年目頃に経験した大規模な案件で、「技術だけでは仕事はできない」ということを痛感しました。製品を納めるまでには、技術的なスキルはもちろん、社内手続き、メーカーへの発注、お客さまや営業との密な連携など、多岐にわたる工程があります。いろいろな調整をしながらプロジェクトを前に進めることは、大変な経験でしたが、一通りやりきったことで大きな達成感を得ることができました。この経験から、技術力に加えて、「ネゴシエーション（調整力）」が非常に重要だと学びました。社内、お客さま、協力会社など、それぞれの立場を理解し、バランスを取りながらプロジェクト全体を円滑に進める能力こそが、大きな仕事を成功させる鍵となります。



Q3 沖縄にいながら働く魅力と、プロジェクトにおける仕事への姿勢を教えてください。

最大の魅力は、住み慣れた沖縄で生活しながら、東京発の大きな案件に携わり、最先端の技術や情報を学び、様々な人脈を築ける点です。私たちが日立グループの一員であるからこそ実現できる、「沖縄と関東のハイブリッドな働き方」だと感じています。また、仕事への姿勢として、私たちは発注側・受注側という関係ではなく、「一緒にこの案件を成功させましょう」というチームメンバーのような対等な立場でプロジェクトに取り組みます。求められたことだけをこなすのではなく、「この方がより良くなる」といった提案を積極的に行うことで、協力会社の方々も含め、みんなで協力し合いながらより良いものを創り上げる環境が整っています。



社員インタビュー 所属部署：コンタクトセンター

Q1 現在のコンタクトセンターでの具体的な仕事内容と、ご自身の役割を教えてください。

現在は、日立グループ内の社員向けの社内ヘルプデスクの管理者・取りまとめ役をしています。お問い合わせ内容は、社内ツールの導入やセキュリティ変更、在宅勤務時のネットワーク接続問題など多岐にわたります。私自身は管理者として直接の電話対応はしていませんが、社員、スーパーバイザー(SV)、オペレーター(派遣社員含む)で構成される約50~60名のチームを管理しています。オペレーターは月1万件ほどの問い合わせに対応しており、そのモチベーション維持やコミュニケーションの円滑化が、現在の仕事における最も難しくやりがいのある点だと感じています。



Q2 仕事の中での印象的な経験と、そこから得た学びは何ですか？

入社からしばらく経った頃、開発経験がないままシステムの設計を担当し、現場から「こんなものは作れない」と叱られた失敗がありました。この経験から、実際に作る側(開発)の立場を理解したいと考え、約1年間開発業務に従事したことが、大きな学びとなりました。また、コンタクトセンターへの異動直後には、開発が遅延している新規システムの説明を顧客にする際、十分な仕様知識がなくユーザーの質問に答えられないという苦境を経験しました。その後、開発者からの集中的な引き継ぎを受け、回答率が30%から70%に急増しました。これらの経験を通じて、開発側とユーザー側の両方の気持ちや事情を理解できる「広い視野」を持つことができ、現在の仕事への自信につながっています。



Q3 沖縄にいながら、この会社で働くことの魅力は何ですか？

大きな魅力は二点あります。一点目は、「沖縄にいながら、関東のIT知識や案件に携われる」という点です。日立グループという大きな組織の一員として、日本全国のトップレベルの技術やシステムに関わりながら、地元沖縄で働くことができます。二点目は、「ワークライフバランスと社風」です。コンタクトセンターは基本出社ですが、子どもの体調不良など家庭の事情がある場合はテレワークも活用可能で、柔軟な働き方が可能です。特に福利厚生は子育て世代にとっても充実しており、魅力を感じています。また、社員同士の仲が良く、上司(部課長や社長)とも気さくに話せる風通しの良い社風も、長く働き続けられる要因だと考えています。



社員インタビュー 所属部署：沖縄県内事業

Q1 これまでの仕事内容について教えてください。

新卒で入社後、最初の6年間は関東の開発部門で、サーバーやインフラをメインに担当し、業務経験を積みました。6年目に「東京で培った経験を沖縄の企業のために活かしたい」という思いから沖縄の県内事業の部署を希望し、異動となりました。現在は、ノートPC等の機器の導入支援から、公共系の保険システムなどの大規模システム構築・切り替えまで幅広く担当しています。県内の企業から公共機関まで、お客さまは多岐にわたります。関東での仕事と違う点は、リソースが限られているため、業務の割り振りや進め方の検討など、プロジェクトを前に進めるためのリーダーシップがより求められるという点です。



Q2 仕事の中での印象的な経験と、そこから得た学びは何ですか？

関東在籍時の6年目、担当した官公庁向けシステムの構築で、リリース後にサーバーが故障するトラブルが発生しました。自分が担当したシステム自体が想定通りの仕組みで止まらずに動き続けたことで、大きな事故を防ぐことができました。この経験を通じて、「当たり前のことをちゃんとやろう」という基本的なことの重要性を再認識しました。自分が携わったシステムが「リリースして終わりではなく、ずっと動き続けている」という意識を持つことが、仕事の品質への自信と責任感に繋がっています。



Q3 沖縄にしながら、この会社で働くことの魅力は何ですか？

最大の魅力は、「沖縄に暮らしながら自分自身を高められる環境」だと感じています。現在、日立グループの中で連携し、生成AIを業務に取り入れ、効率化を図るための検証を推進するなど、グループ全体の業務効率化をリードする最先端の技術領域に携わっています。沖縄にしながら、最先端かつ大きなプロジェクトに取り組める環境は、とても魅力的だと思います。また、県内でも、RPA（業務自動化）案件や公共システム構築を通じて、お客さまのお仕事に深く関わり、地域社会の発展に貢献している実感もあります。日立グループならではの「品質第一」の価値観に基づいた「止まらないシステム」を、沖縄の企業にも寄り添える価格で提供することを目指しています。プライベートの面では、年間休日が多く、都会では難しい「休日に気軽に海や山へ行ける」という点など、ワークライフバランスの良さも魅力の一つですね。



働き方とチーム

仕事は、チームで進めます。

一人で完結する仕事はほとんどありません。
若手のうちから仕事に関わりながら、
先輩社員がそばでサポートします。

分からないことは相談でき、
経験を積みながら、
少しずつできることを増やしていける環境です。



キャリアと成長

決まったキャリアではなく、自分に合った道を選ぶことが特徴です。

社員A

開発の経験を積み重ね、
関東でチームを支えるリーダーへ。

- ① 入社・基礎経験 (2013) **関東**
研修後、システムの保守業務を担当。
システム運用の基礎を学ぶ。
- ② 開発経験を積む (2015)
設計/製造/テスト等、開発工程を全て経験。
- ③ 経験の拡大 (2016)
事業会社の社内システム開発に従事。
複数案件の経験を通して開発スキルを磨く。
- ④ サブリーダーへ (2018)
開発業務でサブリーダー。ニアショアメンバーとの
ブリッジ役としてチームを支える。
- ⑤ リーダーとして活躍 (2022～)
公共系システム開発のリーダーとして、顧客対応や
進捗管理を担当。
2022年には2か月の育休も取得。

社員B

技術サポートから業務推進まで、
役割を広げ続ける。

- ① サポートを担当 (2015) **関東**
研修後、テクニカルサポート業務に従事。
問い合わせ対応、調査・技術支援を学ぶ。
- ② 担当領域の拡大 (2020)
RPA製品のテクニカルサポートも担当。
複数製品の問い合わせ対応・技術支援を行う。
- ③ 拠点を変えてサポート (2023) **沖縄**
沖縄拠点へ。システム運用サポート受付などの
内製化業務に携わる。
- ④ BPO業務を推進 (2023)
営業BPO業務を担当。
システム入力代行などを実施。
- ⑤ サブリーダーへ (現在)
調達BPO業務など複数業務を担当。業務推進や
メンバーサポートを担うサブリーダーとして
活躍。

社員C

ライフイベントを経ながら、
沖縄で開発キャリアを続ける。

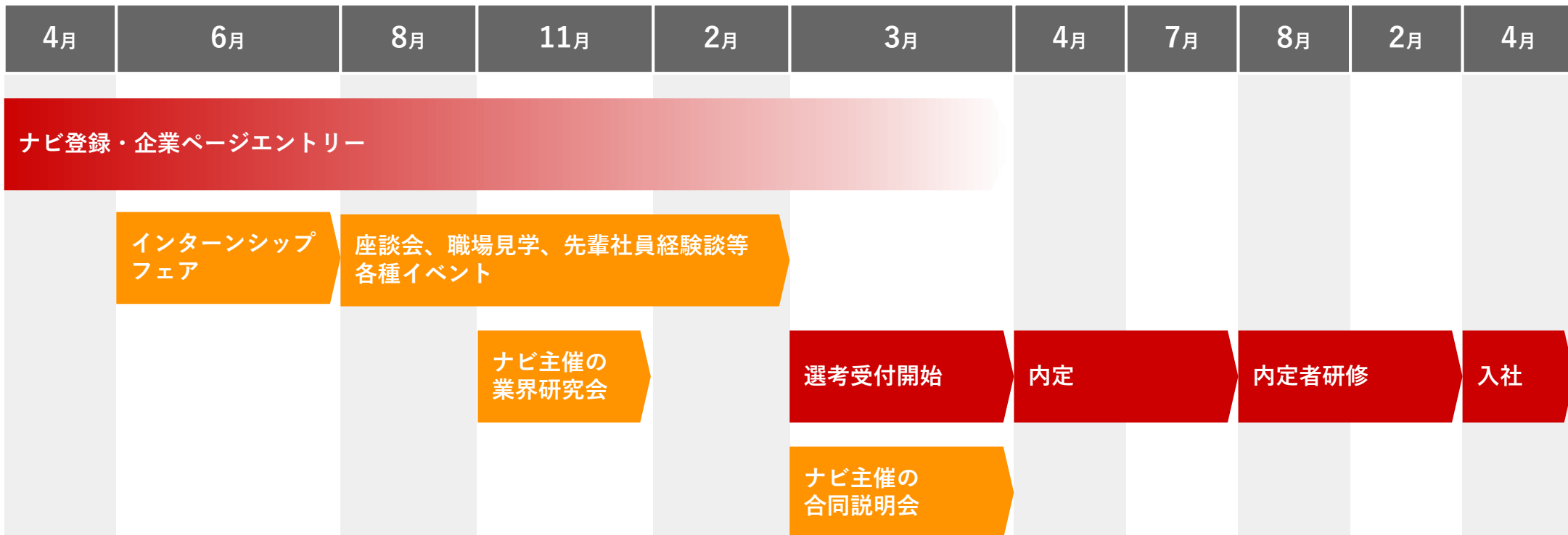
- ① 入社・開発経験 (2016) **関東**
研修後、通信系業務システム開発に従事。
設計・製造・テストを担当。
- ② 開発経験を拡大 (2017)
設計やテストに加え、オフショア・ニアショア開発
とのブリッジ業務も担当。
- ③ サブリーダーへ (2019)
通信・電力系システム開発で設計・製造・テストを
担当しながら、サブリーダーとして作業支援も担当。
- ④ 拠点移動とライフイベント (2022) **沖縄**
沖縄へ帰任し、第一子の産休・育休を取得。
- ⑤ 沖縄で開発を継続 (現在)
通信・公共系システム開発や生成AI検証などに従事。
第二子の産休・育休後も開発業務で活躍。

新卒採用スケジュール

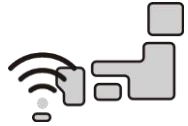
大学3年生の4月からインターンシップの募集が開始し、夏以降、インターンシップや各種イベントがスタートしていきます。企業理解や自己理解を深めながら、選考に進むステップです。

大学3年生

大学4年生



求める人物像



沖縄を拠点に、
全国水準で働きたい人



コミュニケーションを意識し
チームで働ける人



技術的向上心を持ち
自ら学習する人



目標に向かい
継続して学び続けられる人



最後までやり切る
責任感を持てる人



相手の立場になって
考えられる人